

第2部：10：20～11：30

〈インタビュー・ダイアログ〉 「通学合宿」の30年を振り返る

登壇者：飯塚市庄内生活体験学校館長

聞き手：九州共立大学名誉教授 交流会代表世話人

九州女子大学教授

正平 辰男

古市 勝也

大島 まな

〈登壇者プロフィール〉



●正平 辰男 飯塚市庄内生活体験学校館長

福岡県教育庁社会教育課主幹社会教育主事などを歴任。平成15年より東和大学、純真短期大学特任教授、平成29年3月退職。昭和58年より「通学キャンプ」に取り組む。平成元年より6泊7日の通学合宿に取り組む。平成27年度よりNPO法人ドングリが飯塚市庄内生活体験学校の指定管理者となり館長に就任。著書に、「子どもの育ちと生活体験の輝き」「生活体験学習入門」(ともに共著)などがある。

〈聞き手〉



●古市 勝也 中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会代表世話人

九州共立大学・九州女子大学・同短期大学生涯学習研究センター所長、九州共立大学スポーツ学部教授、九州共立大学地域連携推進室長を経て、九州共立大学名誉教授、日本生涯教育学会生涯学習実践研究所福岡センター長、「西日本『生涯学習御学友』ネットワーク」世話人代表、第34回から交流会代表世話人を務める。



●大島 まな 九州女子大学教授 人間科学部長

九州大学教育学部社会教育講座、九州女子短期大学等を経て現職。福岡県社会教育委員。庄内町で長期通学キャンプが始まった同時期に、福教大三浦研究室主催の青少年教育キャンプにスタッフとして参加。子どもを鍛え「欠損体験」を補完する教育プログラムに関心をもち続けてきた。共著に『明日の学童保育』、『社会教育の核心』など。